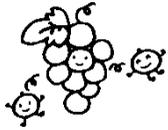


平成27年度 第1回市民公開講座『地域包括ケア～口腔ケアの実践～』

「気仙沼支援 医療・福祉関係5団体」 & 気仙沼・南三陸「食べる」取り組み研究会 講演会

高齢者に対する“おいしく、楽しく、安全な食生活”への支援

～摂食嚥下リハビリテーションの考え方と手法～



日時 : 平成27年11月27日(金) 18:30～20:30時 (18時開場)
場所 : 気仙沼市役所ワンテン庁舎 2F 大ホール

司会進行 : 金澤 洋 氏 (気仙沼歯科医師会在宅歯科医療連携室長・「食べる取り組み」研究会)
飯田 良平 氏 (鶴見大学歯学部高齢者歯科学講座・5団体)

講師 : 植田 耕一郎 氏 (日本大学歯学部摂食機能療法学講座)

1990年に都立のリハ専門病院で成人・高齢者への摂食嚥下リハビリテーションが始動しました。私は歯科医の立場で、その一端に身を置き、巡り巡って現在歯学部附属病院にて摂食機能療法学講座と摂食機能療法学科を担当しています。今、都心は地方からブラックホールのように人を吸収し、その分高齢化率は空前の急上昇となっています。今、都内で特別養護老人ホームに入所希望をしても、自分の順番は100番目といったことが通常です。

気仙沼に初めて伺い、貴地区の現状を露とも知らない私が、果たして要望に沿う話がどこまでできるのか、もちろんこうした東京の実状が通じるはずもなく、と不安でいっぱいです。しかし、“おいしい”が生きる喜びであることは共通だと思えます。病気や障害があろうとも一生、気仙沼の“おいしい”を抱いていくことができる、そんな一助となるべく摂食嚥下リハビリテーションについて、今回提案をさせていただきます。齢を重ねることに誇りをもつ超高齢社会となるべく、話し合いの場となれば幸いです。

・・・受講料無料・・・

◆ 問い合わせ・申し込み先 気仙沼市保健福祉部健康増進課 専門職の方で参加を希望される方は、11月25日(水)までにお申し込み下さい。
一般の市民の方へは新聞告知にてご案内申し上げます。

主催 : 「気仙沼支援 医療・福祉関係5団体」「気仙沼 南三陸「食べる取り組み」研究会」

共催 : 気仙沼市 気仙沼市医師会 気仙沼地区地域医療委員会 気仙沼歯科医師会 気仙沼市社会福祉協議会 気仙沼介護サービス法人連絡協議会

【講師略歴】

昭和 58 年 3 月 日本大学歯学部卒業
昭和 62 年 3 月 日本大学大学院歯学研究科修了（歯学博士取得）
平成 2 年 6 月 東京都リハビリテーション病院 医員
平成 11 年 4 月 新潟大学歯学部加齢歯科学講座 助教授
平成 16 年 4 月 日本大学歯学部摂食機能療法学講座 教授
平成 26 年 9 月 日本大学歯学部付属病院 副病院長

平成 17 年度 厚生労働省介護予防検討委員会 口腔機能の向上支援マニュアル研究班 主任研究者
平成 18, 19, 20 年度 厚生労働省「介護予防継続的評価分析等検討委員会」委員
平成 19 年度 「介護予防給付の栄養改善，口腔機能の向上支援の実施に関する研究」主任研究者
平成 20 年，21 年度，22 年度「摂食・嚥下機能改善のための補助具に関する研究」主任
平成 18 年度，21 年度，24 年度 「口腔機能向上支援マニュアル（改訂版）」研究班長 現在に至る

日本摂食嚥下リハビリテーション学会 理事長，認定士
老年歯科医学会 認定医，指導医，常任理事
日本口腔リハビリテーション学会 理事
愛知学院大学歯学部非常勤講師
神奈川歯科大学非常勤講師
奥羽大学客員教授

【関連著書】

1. 植田耕一郎：脳卒中患者の口腔ケア第 2 版，医歯薬出版，2015 年
2. 植田耕一郎：患者説明用・教育用ビデオ 要介護高齢者の摂食・嚥下リハビリテーションと口腔ケア，デンタルダイヤモンド社，2001 年.
3. 植田耕一郎編 他 2 名：口と歯の病気マップ，医歯薬出版，2003 年.

【一般書】 植田耕一郎：「長生きは唾液で決まる」 講談社α新書，2014 年 7 月 22 日